

<リース(仕様発注)>

積算システム用ソフトウェアほか1式 借上げ仕様書

1	リース物件名	積算システム用ソフトウェアほか1式 借上げ
2	品質・形状・寸法 又は型式	別紙リース物件内訳書参照
3	設置場所	横須賀市上下水道局逸見総合管理センター(下水道管渠課)
4	リース期間	令和4年6月1日から令和9年5月31日までの60ヶ月とする。
5	保守契約	購入金額に含む
6	リース物件 設置・撤去費用	設置費は購入金額に含む。なお、撤去費用は所有権の移転に伴い発生しない。
7	動産総合保険	動産総合保険は不要
8	リース物件の 固定資産税	固定資産税は非課税のためリース料に算入しないこと。
9	リース期間 満了後の措置	なし
10	契約方法	長期継続契約によるリース契約 (初年度は総価契約、2年度目以降は月額契約)
11	支払方法	1月分ごとの後払いとする。
12	入札金額	60ヶ月分のリース料率で算定し、初年度の支出予定となる10ヶ月分の借上金額を入札金額(消費税抜き)として記入すること。
13	その他事項	本調達におけるリース対象物件は、非永続ライセンスのため、リース期間満了後の使用権はなくなるものとする。
14	連絡先	横須賀市上下水道局技術部下水道管渠課 永山 046-822-8616(直通)

リース物件内訳書

(税抜き)

No.	リース物件名	品質・形状・寸法 又は型式	単位	数 量	月額リース料(円)
1	Gaia10 スタンドアロン版	基本システム 5年保証	1	ライ セン ス	
2	市販単価データ更新費用		5	年	
3	地域積算オプションデー タ更新費用		5	年	
4	歩掛オプション	シールド	1	オプ ショ ン	
		業務委託	1	オプ ショ ン	
		下水維持	1	オプ ショ ン	
5	設計書入出力オプション		1	オプ ショ ン	
6	電話・メール対応費用		5	年	
7	セットアップ費用		1	台	
8	※ 詳細については、特記仕様書のとおり				
9	※ Gaia10は株式会社ビーイングの土木工事積算システムである				
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

※月額リース料欄は、契約者が記入する。

特記仕様書

1 基本システム

- (1) 横須賀市上下水道局が執行する公共工事の仕様に沿った積算機能を有すること。
- (2) スタンドアロン方式のシステムであること。
- (3) データは、年度、月毎及び部署、課別で管理できること。また、単価データは、表示する単価年度を設定できること。
- (4) 名称、規格の文字数は、各全角100字まで入力できること。
- (5) 積算に使用する「適用単価年月日」は、設計書ごとに設定が可能であり、かつ、同一設計書内で複数の「適用単価年月日」が設定可能であること。
- (6) 設計書の世代更新ができること。
- (7) 歩掛条件を選択又は数値入力することにより、自動的に代価表を作成できること。
また、数値入力する際には、基準値以外の数値も直接入力できること。
- (8) 複数回の変更設計書を作成できること。
- (9) 複写、挿入、削除等の操作により、設計書を効率的に作成できること。
- (10) 他の設計書から内訳書、明細書及び代価表などの表単位又は行単位でのコピーができること。
- (11) 登録代価（共通代価）を元に別代価を作成できること。また、作成した代価の内容を画面上で確認できること。
- (12) 設計書の数量欄、単価欄に計算機能を有し、かつ、備考欄に計算根拠を自動で記入できること。
- (13) 注釈行を作成できること。
- (14) 設計書ごとに労務単価の標準、夜間、深夜金額等を自動で切替えができること
- (15) 処分費の計算ができること。
- (16) 経費、間接工事費、一般管理費等の編集及び調整ができること。
- (17) 経費の逆算ができること。
- (18) 設計書の合算（同時、追加）ができること。
- (19) 設計書の中に存在する材料、製品及び損料や労務費の総数量の集計が取れること。集計結果をCSVなどで電子データとして出せること。
- (20) 工種、材料の種類ごとに、数量調書を作成できること。
- (21) 材料、労務など要素別に集計できること。
- (22) 損料の基礎価格他、必要事項を入力することにより、13欄、15欄の損料計算を自動で行なう機能を有すること。
- (23) インターネット経由でソフトの最新情報や歩掛データを取得できる機能を有すること。
- (24) 総括表の中に使用した関連するファイルの登録ができること。
- (25) 損料については、建設機械等損料算定表がそのまま格納されていること。

- (26) 基準値以外の数値も直接入力できること。
- (27) 計算根拠となる計算式も画面で確認することができ、計算式自体を修正することもできること。(丸めの変更も可能なこと)
- (28) 諸経費率改定は用意されたテーブルの値を変更するだけで可能とし、また、率のみならず、条件式及び補正值等の追加までできること。
- (29) 名称、フリガナ、コード(完全及び部分一致、頭文字)の検索ができること。また、複数の文字列による検索ができること。
- (30) 作成した工事データを印刷できること。また、作成した工事データを Excel ファイル形式又は CSV ファイル形式へ出力できること。
- (31) 本システムの使用者一人ずつにログイン用 ID(ユーザー名)とパスワードを発行し、そのユーザー名とパスワードが合致しないと本システムにログインすることができないこと。また、ユーザー名ごとに権限を与えることができること。
- (32) 自動積算の歩掛を作成できるエディタ機能を有すること。
- (33) メールソフトを起動しなくても、システムから質問が書き込めてサポートセンターにメール送信できること。
- (34) 積算専用サイトに FAQ、質問受付と回答が用意できていること。
- (35) 設計書内で任意に金額端数処理が行なえること。(表内での調整金など)
- (36) 土木・下水道・公園・上水道・港湾・治山林道・農林の業務委託(調査・測量・設計)設計書が作成できること。また、測量、地質調査、設計の業務にかかる経費計算を1つの設計書で行なうことができること。
- (37) 施工パッケージ型積算方式に対応したシステムであること。また、契約期間中に積算方法が変更になった場合には、対応できること。
- (38) 単価世代は、毎月更新を考慮して、年間12世代(5年間で60世代)以上の作成が可能であること。
- (39) 積算ソフト側で印刷したのと同様のフォームで、汎用計算ソフト等への出力が可能なこと。
- (40) 設計書を作成する際、直前の操作を取り消して元に戻すことができること。また、戻した場合には、戻す前の操作の状態にやり直すことができること。なお、それぞれ10回分の操作を取り消して元に戻す又はやり直しができること。
- (41) 日当たり施工量から所要施工日数を計算する機能を有すること。
- (42) 「一般社団法人 経済調査会」及び「一般社団法人 建設物価調査会」の単価データをシステムで利用できること。取り込んだ両社の単価データの安値、平均値を算出し、それらを比較して表示できること。Web 建設物価、土木コスト情報、積算資料、土木施工単価、積算資料別冊等に対応していること。
- (43) 独自の諸経費率を設定でき積算できること。
- (44) 金入り及び金抜き設計書の印刷ができる機能を有すること。
- (45) 単位や項目にて抜き印字の設定が出来る機能を有すること。

- (46) 諸雑費行を印刷するときに、率表示と一式表示の選択ができる機能を有すること。
- (47) 指定した任意の複数の表を個別印刷できる機能を有すること。
- (48) 専用用紙が不要であること。
- (49) 印刷プレビュー機能を有すること。
- (50) 印刷前にツリー表示などで、設計書の階層や内容を確認できること。
- (51) 新土木工事積算体系に対応していること。
 - 1) 土木、下水、公園、港湾に対応していること。
 - 2) モジュール表を装備していること。
 - 3) レベル4以下を個別にして印刷できること。
 - 4) 複数の事業区分及びレベル1から同一設計書に任意に選択できること。
 - 5) 新土木工事積算体系に対応した数量総括表の出力が出来ること。
 - 6) 新土木工事積算体系により作成した設計書に、工種選択により作成した代価表や単価を追加して積み上げた設計書を作成できること。
- (52) 労務単価を「夜間」に切替えた場合、画面上で確認ができること。
- (53) 諸雑費の対象行が、画面上でわかること。
- (54) 検索結果の表示において、使用すべき優先順位の高いものから順に表示できること。
- (55) 検索結果の表示において、単位で絞り込み表示ができること。
- (56) システム内から、PDF ファイルの文字列検索ができること。
- (57) 『Gaia9』の工事データを読み取ることができること。
- (58) システム内に単価登録した場合、関連資料を関係づけて保存することができ、併せて表示することができること。

2 市販単価データ（建設物価単価データ、経済調査会単価データ）を年間4回提供すること。

3 地域積算オプションデータを提供すること。

4 歩掛データ

- (1) 下記の基本プログラム及びオプションが実装されていること。
 - 1) 基本プログラム
 - ア 国土交通省 土木工事標準積算基準（共通編／河川・道路編／電気通信）
（トンネル工と橋梁工の一部除く）
 - イ 建設物価調査会 土木コスト情報／経済調査会 土木施工単価
 - ウ 国土交通省 土木工事積算基準（トンネル工と橋梁工の一部除く）
 - エ 国土交通省 施工パッケージ型積算基準

- オ 全国防災協会 災害復旧工事の設計積算要領
- カ 農林水産省 土地改良工事積算基準（施設機械）電気通信設備編
- キ 国土交通省 下水道用設計標準歩掛表
- ク 日本下水道協会 下水道用設計積算要領（シールド工法、設計委託、管
きょ更生工、ポンプ場処理場の機械・設備・建築・建築設備除く）
- ケ 日本推進技術協会 推進工法用設計積算要領
- 2) シールドオプション
 - ア 国土交通省 下水道用設計標準歩掛表（管路施設編）
 - イ 日本下水道協会 下水道用設計積算要領（管路施設編）
- 3) 業務委託オプション
 - ア 国土交通省 設計業務等標準積算基準
設計業務等標準積算基準書（参考資料）
 - イ 国土交通省 公園緑地設計業務等委託積算基準
 - ウ 国土交通省 下水道用設計標準歩掛表（設計委託）
 - エ 日本下水道協会 下水道用設計積算要領（設計委託編）
 - オ 国土交通省 港湾土木請負工事積算基準
 - カ 水産庁 漁港漁場関係工事積算基準
 - キ 全国簡易水道協議会 水道事業実務必携
 - ク 日本治山治水協会／日本林道協会 治山林道必携（調査・測量・設計編）
- 4) 下水維持オプション
 - ア 日本下水道協会 下水道施設維持管理積算要領（管路施設編）
 - イ 日本下水道管路管理業協会 下水道管路施設 維持管理積算資料
 - ウ 国土交通省 下水道用設計標準歩掛表（管路施設編）
 - エ 日本下水道協会 下水道用設計積算要領（管路施設編）

5 設計書入出力

- (1) 汎用ソフトから設計書にデータを取り込めること。
- (2) 設計書入出力オプション（神奈川県土整備部）を使用出来ること。
- (3) 工事作成の際に、取込む設計書データが画面表示できること

6 電話・メール対応

- (1) 操作の問い合わせ等に関する電話対応
- (2) 積算システムに支障が生じた場合、速やかに技術者を派遣し、復旧すると共に継続的に積算システムを正常かつ円滑に運用できる環境を整えることとし、障害発生の原因がハードウェアあるいはソフトウェア又は両方の場合の判別を行なうものとする。

(3) 対応時間帯は次のとおりとする。

平日（月曜～金曜 9:00～18:00）（除く祝祭日、年末年始、メーカーが事前連絡した日）稼動するものとし、継続的に正常かつ円滑に運用できるよう維持保守するものとする。

7 セットアップ

(1) 指定する場所に設置し、調整するものとする。

(2) 積算システムとして継続的に正常かつ円滑に機能し、運用できるよう調整を行い環境を整えること。

(3) 納入期日までに、1台に新システムのインストール作業を行なうこと。ただし、現行システム及びその他アプリケーションの動作を妨げないこと。

(4) フォルダ及びレジストリの変更や、アクセス権を設定する必要がある場合は、必ず、横須賀市上下水道局の了承を得ること。

8 その他

(1) 管理及びセキュリティ

1) 各データの保護のため、ログイン ID（ユーザー名）及びパスワードによって以下の制限を設定できること。

ア 第三者の設計書に更新制限

イ 第三者の設計書に閲覧制限

ウ 単価の登録及び更新制限

エ 経費の登録及び更新制限

(2) 積算システムの維持保守

1) 賃貸借契約期間中以下の標準維持保守を行なうものとする。

ア 本件プログラムの維持保守

イ 基準データの維持保守

ウ 積算システムの維持保守

エ 積算システムの運用に関する技術協力

2) その他技術相談の実施

本件プログラム以外のソフトウェアの更新、又は他の変更を原因とする本件システムの作業不良については対象外とするが、発生した場合は、協力を行い解決を図るものとする。